

平成23年度予算編成方針について

平成23年度収支不足額(見込み) **1,025億円**
〔22年度予算編成方針策定時(同時点):1,427億円〕

平成23年度予算編成においては、県税収入に一定の増加が期待できるが、政府の財政運営戦略において、地方の一般財源の総額は平成23年度から平成25年度まで今年度と実質的に同水準とされていることから、地方交付税などの減が予想される。

一方、歳出面では、高齢化等に伴う福祉・医療関係経費、県債の償還などの義務的経費の増加が避けられず、財政状況は依然として厳しい状況が続いている。

今回の収支試算は、歳入、歳出とも一定の前提に基づいて推計したものであり、最終的な予算の姿となるものではない。

今後の予算編成における取組

11月からの予算編成過程において、全庁的な議論を深め、全ての事業について例外なく見直しを行う一方、下記の基本方針を踏まえ、「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」の着実な推進、将来を見据えた政策の戦略的展開のための予算を編成していく。

【基本方針】

1 「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」の総仕上げ

平成23年度は「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」の最終年度に当たることから、プランを実現するための取組を更に加速し確かなものとする。

2 将来を見据えた政策への集中投資

次期5か年計画を見据え、「未来への投資」や「埼玉モデルの共助社会の構築」など、今後の成熟社会において県に求められる政策へ集中的に投資する。

3 事務事業の総点検を踏まえた見直し

全ての事業について例外なく見直しを行うことで、事業の新陳代謝を加速し、社会情勢の変化に適切に対応する。